

150 ナミガイ

(オオノガイ科)

兵庫県ランク:C

*Panopea japonica*

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道から九州に分布。潮間帯下部から水深約30mの砂泥底に深く潜って生息する。殻長100mm、殻高70mm程度。殻は丸みのある四辺形で、薄くよく膨らむ。前後部は広く開き、殻表は淡黄色の薄い殻皮を被り、輪脈は太く波打つ。内面は白色。食用とされ、市場では「白ミル」などの名がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島中部の内湾に面した干潟潮間帯下部のアマモ場周辺泥砂底より若齢個体の生貝が得られるが、生息数は非常に少ない。

保護上の留意点

成貝は深場に生息しているようだが、稚貝は内湾干潟に生息しているので、現在分かっている若齢期の育成場としての干潟を保全し、資源維持に努める。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋



【執筆者】 川渕千尋